Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter 2019▸2020

ロータリーは
世界をつなぐ

釧路に咲くサクラ

Vol.11 ガバナー月信
2020.5.1

Rotary

―― 地区活動方針 ――

「知らずて語れず！」

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 1
特別寄稿 …… 2
My Rotary登録状況・年次基金寄付状況報告 …… 3
国際ロータリー第2500地区RLIセミナー兼DL研修会 …… 4
　ＲＬＩ研修会　アンケート集計 …… 8
誌上ＩＭ …… 9
次年度地区チーム研修セミナー・ＰＥＴＳ …… 13
ハイライトよねやま …… 17
コーディネーターＮＥＷＳ …… 19
新入会員・寄付者・物故者 …… 20
例会出席率及び会員数推移

ガバナーメッセージ

2019−2020年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉 田 潤 司
（釧路ロータリークラブ）

長かった冬も終わり2500地区にも初夏が訪れました。雪が少なかったと言われてたのが、結局１年間で降る雪の量は例年とそんなに変わらなかったと感じています。

雪の少ないころに開催されたさっぽろ雪まつりに多くの外国人が訪れまた、道内各地から札幌に旅行した方々が、運の悪いことにほんの少しの人が新型コロナウイルスに感染し地方に戻り拡散してしまいました。不思議なことにこの感染した人が、肩身の狭い思いをしています。犯人捜しの状況です。風邪をひいたりインフルエンザにかかってもだれも「あの人が持ち込んだ。」とは言いません。「運が悪かったんだね。早く治ってほしい。」と同情しますが、新型肺炎と同じことなのになぜ対応が違うのでしょうか？

私は人間の持っているエゴがむき出しになるからだと思います。風邪もインフルエンザもいうなれば冬の代名詞で、珍しいものでもなく罹った人がたまたま運が悪かったと理解しますが、慣れない新型肺炎に対してこのたまたま運が悪かったという思考の免疫性がないから「なんで雪まつりなんかに行ったんだよ」とかひどいのになると「私なら細心の注意するからうつらないよ。注意が足りなかったんじゃないの。」という人もいるようです。もちろん細心の注意をしなければなりませんが、目に見えないウイルスは、どこにいるのかわかりません。冷静に考えれば、私でも、これを読んでいる皆様でもたまたまウイルスを吸い込んでしまう可能性は十分あるのではないでしょうか。それで非難されてはたまりません。

地区内の多くの行事が中止か延期になりました。最も残念なのは、IMの中止です。

このご時世、中止もしょうがないかもしれません。理解は十分できますが、分区内のロータリアンが一堂に集まり、学び友情を深める行事で、ガバナー補佐にとりましては１年の集大成の事業です。ガバナー補佐と主管クラブそれぞれ工夫を凝らし長い期間準備してきたものが断腸の思いで中止せざるを得ないということに慰めの言葉もかけられません。

私自身もIMで各分区に訪問し再び友情を深める機会を失ってしまったことに忸怩たる思いがあります。「残念です。」の一言です。

国内34地区の中にも地区大会を開催できなかったガバナーがたくさんおります。2500地区は早い時期に終わりましたが、今私の地区で地区大会が中止となったらと思うと思考回路が寸断され、どういう心境になるのか全く想像ができません。

地区大会を開き、著名な講師の講話を聴き、多くのロータリアンと友情を深め懇親会を楽しむことが全くできないガバナーがいることに心の底より同情をしています。

多くの行事が中止になりました。ハワイでの国際大会も残念ですが中止です。次年度のためのPETS、地区研修・協議会もFace to Faceではできず、Zoomというネットでの研修会となりましたが、松田ガバナーエレクトの方針と地区にかける熱意をくみ取っていただきたいと思います。

一人一人のロータリアンがロータリーの発展と、クラブの活性化のために来るべき年度に自分のできることに全力での行動をぜひお願いします。

◆ 特別寄稿 ◆

取り戻そう！楽しい日常を。

国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉 田 潤 司
（釧路ロータリークラブ）

この原稿を書いている３月27日は、前日東京都の小池知事が、今週末の不要不急の外出自粛を要請していましたが「不要不急ってどこまで？どれはいい、どれはダメと言って欲しい」と街の人が言ってるのを聞いて、なんでも指示待ちの世界になったと思います。

９年前の東日本大震災の時、ある自治体で避難すべきかどうか役場の前で指示待ちしていて結局避難指示が出る前に、津波で多くの人が亡くなったという話をTVで観ました。

今回もひっ迫してないかもしれませんが、自分で考え、この外出は不要不急だ。この外出は今日でなくてもいいと自分で考えて行動すべきでないのでしょうか。

たぶんほとんどの外出は、不要不急の外出かもしれません。

素人の知識ですが、コロナウイルスの生存期間は２週間前後と聞いています。２～３週間少し窮屈な生活になりますが各自が自粛する意識を持てば、大幅に感染者を抑えることができるのではないでしょうか。

小池知事の放映の夜のテレビで、東京高田馬場で、若者が大勢たむろし歌って大騒ぎして酔っぱらっているニュースが放映されました。あきれてしまいました。なんとも情けない気持ちと腹が立ちました。

若者がなぜ自粛要請にもかかわらず外に出るの・・・以下のようなこともあるそうです。

・自分は大丈夫。友達も誰もコロナに罹ってない。
・若いから罹っても発症しない。軽い。
・自分は対策を十分やってる。手洗いはもちろん、携行消毒液も持参してる。
・自分一人くらい大丈夫だよ。・・・・・その他いろいろですが根底には、自分は大丈夫と意味のない根拠のない言い訳です。現実には、若い人も重症化し、亡くなっています。

また不安だから一人でいるより外に出て友達と一緒にいると安心という不安感。

新型肺炎がこのまま勢いを失うことなくロックダウンされても収まらず何万.何十万の人が命を落とす事態になって、手遅れになるというシュミレーションを考えれば、一月くらい不自由でも安心な世界を作ることが大事ではないでしょうか。

イタリアも少し油断しました。イタリアに同情しますが第二のイタリアにはなりたくない。今まさに国難に面しています。一人の若者が陽性になると、2.7人の人にうつしてしまうと言われています。2.7人が2.7人にうつすと、陽性者だけで天文学的数字になります。

この原稿が載る５月号発行時に、新型肺炎が収まっていることを祈るばかりです。

今までと同じように、自由にどこにでも出かけられて、多くのスポーツやイベント、ライブ等を楽しめる日常になればどんなに楽しいでしょうか。一人一人が、きちんとこのウイルスと対座し、自分でできることを積み重ねることで、楽しい日常を取り戻せます。

（この寄稿文が、杞憂に終わっていることを祈ってます。）

My Rotary登録状況 ・ 年次基金寄付状況報告

分区	クラブ	My Rotary登録状況		年次基金寄付クラブ
		登録率%	地区内順位	
1	礼文	13.33	52	○
	利尻	38.89	8	○
	利尻島	16.67	45	○
	天塩	12.50	55	○
	豊富	19.05	35	○
	稚内	6.98	62	○
	稚内南	0.00	67	
2	美深	26.92	20	
	枝幸	3.85	66	
	名寄	18.03	40	○
	中頓別	31.25	13	○
	士別	27.08	19	
	下川	20.00	33	○
3	旭川	16.44	47	
	旭川東	18.18	36	
	旭川北	34.09	12	○
	旭川南	12.50	55	○
	旭川西	18.00	41	○
	旭川東北	26.67	22	○
	旭川M	91.30	3	○
	旭川空港	30.77	14	○
	美瑛	17.86	42	○
	富良野	36.96	11	○
	上川	10.00	58	
	Eクラブ	100.00	1	○
4	遠軽	9.76	59	○
	紋別	6.45	64	○
	紋別港	25.00	25	○
	中湧別	18.18	36	○
	興部	13.33	52	○
	雄武	15.38	49	○
	滝上	17.65	43	○

分区	クラブ	My Rotary登録状況		年次基金寄付クラブ
		登録率%	地区内順位	
5	網走	30.77	14	○
	網走西	5.77	65	○
	美幌	6.90	63	○
	北見	16.36	48	○
	北見東	14.81	50	○
	北見西	23.81	29	○
	清里	40.00	7	○
	留辺藥	18.18	36	○
	斜里	20.00	33	○
6	足寄	16.67	45	○
	広尾	18.18	36	○
	上士幌	26.67	22	
	芽室	7.14	61	
	帯広	37.50	10	○
	帯広北	27.69	18	○
	帯広西	17.33	44	○
	帯広東	12.82	54	○
	帯広南	40.28	6	○
	音更	25.71	24	○
	清水	22.22	30	○
7	釧路	41.00	5	○
	釧路東	20.59	32	○
	釧路北	26.92	20	○
	釧路南	30.00	16	○
	釧路西	29.63	17	○
	釧路ベイ	95.00	2	○
	音別	25.00	25	
	白糠	45.45	4	
8	厚岸	25.00	25	○
	別海	11.76	57	○
	浜中	25.00	25	○
	中標津	9.52	60	○
	根室	13.51	51	○
	根室西	37.74	9	○
	弟子屈	22.22	30	○

（記載の記録は４月10日時点でMy Rotaryに反映されているものです）

国際ロータリー第2500地区RLIセミナー兼DL研修会

RLI導入準備委員会
委員長 葭 本 正 美
（パストガバナー：釧路ベイロータリークラブ）

日時：2月23日(日)～24日(月)
会場：かでる2.7 道民活動センタービル 5F
講師：RI2510地区 酒井正人PDG
RI2840地区 本田博己PDG
（RLI日本支部ファシリテーター委員会副委員長）

まず、RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)とは、

・各クラブや地区の活性化のために研修の際に講義を一方的に聞くのではなく参加者全員が必ず意見を出すことで参加意識を高めモチベーションが上がるもので、会員全員がリーダーとなる研修の手法です。RLI自体が研修ではなく研修や会議をする際にRLIの手法を取り入れて研修をおこなう形となります。
・RLIのディスカッションリーダー(DL)は研修を受けたすべての会員がなることができ、DLはあるテーマで開催された研修に際して参加者が質の高い意見やアイデアの交換をするための進行役です。したがって、テーマについての知識は必ずしも必要ではなく自分の意見を披歴することはありません。また、ロータリーの知識が豊富なエリート的な役職でもありません。

※内容を2500地区のHPにUPしておりますのでご覧ください。

今回の研修はRI2500地区内でRLIセミナーを行うことができるようにするためのディスカッションリーダー(DL)を養成するためのものです。

本田・酒井両PDGを講師にお迎えしRLIセミナー(Part 1～Part 3)を開催しながらDLの心構えやテクニック、例えば話が長い参加者に近づき腕時計を見る等も学びました。

通常は1日50分のセッションを6回おこなうPartを3日行うプログラムで行われますが今回は2日間に集約して行いました。

1．講師歓迎会

前日は22日(土)の18時30分より、小船井地区研修委員長にもご参加いただき本田・酒井両講師の歓迎会を開催いたしました。講師を含め10名の参加でしたがロータリー全般のお話から中々分りづらいRLIについて誤解を解きながらかみ砕いたお話をいただき大いに盛り上がりました。

2．研修(1日目)

講師2名、RI2500地区から32名、RI2510地区から延べ5名(オブザーバー)と想定以上のメンバーにご参加いただき用意した教室の中がびっしりとなり嬉しい悲鳴でした。

研修に先立ち細川副ガバナーから講師へ

の感謝と参加者の方への激励のご挨拶をいただき、続いて今回の開催の趣旨を「是非、この研修に出席して、DLになっていただきRLIの成功の鍵となっていただきたい。研修を通じてロータリーをますます好きになっていただき、自分の仕事に取り入れ役立ていただきたいと思いますます。」とお話しさせていただきました。

当初、参加者はRLIがどういうものか理解できず、不安でいっぱいという状況でしたが、本田PDGからRLIの意味、大切さをわかりやすく次のようにご講義していただきました。

3．講義の内容（1日目）

（RLIとは？）

・RLI（The Rotary Leadership Institute）とはRLIはロータリークラブの潜在的なリーダーのためのリーダーシップ開発プログラムを実施する多地区の「草の根連合組織」です。
・RLIは1992年に設立され、現在ではRIの多地区合同奉仕プログラムとして、世界525地区のうちの410地区で採用（77%）、日本では34地区中24地区（71%）が採用している。
・目的は、質の高いリーダーシップ研修を通じて、ロータリークラブを活性化することです。
・参加型、双方型の討議により、参加者のロータリー理解を深め、モチベーションを高めるために行うこと。

（RLIに対する誤解）

・RLIはロータリーエリートの養成機関ではないか？✕
・ロータリーはリーダーの集まりだから、今更リーダーシップを学ぶ必要がないのでは？✕
・ロータリーはリーダーシップを鍛錬する道場〇

（ロータリーにおけるリーダーシップ）

では、ロータリーにおけるリーダーシップとはどのようなものか。

この考え方が一般の企業でも定着してきており実績をあげてきています。

・ロータリークラブは、権限を持った固定したトップが指示・命令する組織ではない。
・会員の平等・対等な関係が前提。
・クラブの組織力を高めるためには、会員全員の合意形成・対話・協力が重要。
・会員それぞれが個性と能力を存分に発揮できるよう、場合によってリーダーシップは変わる。

（RLIセミナーの進め方）

・各セッションは50分、1日6セッションリーダー、今回は1セッション30分の短縮版もある。
・各セッションは、ディスカッションリーダー（DL）が進行役を務める。
・1セッションの参加者は8～16人ぐら

いの少人数が望ましい。
・肩書きを捨てる。
・役職で呼ぶのではなく、「さん」付けで呼ぶ。

（ディスカッションリーダーの役割）

ディスカッションリーダーは、一方的にレクチャーする講師ではありません。ディスカッションリーダーは、ファシリテーター（討論などの進行役、まとめ役）

（ファシリテーターの役割）

・討論の流れをスムーズにする。
・参加者の活発な発言を促す。
・議論の交通整理をする。

（机に置く名札）

裏面にRLIの注意事項が書いてあり、それに注意して研修に参加します。
・自由に討議に参加して下さい。
・注意深く聞きましょう。
・経験を自由に話合いましょう。
・本題から離れないように注意しましょう。
・他人の発言に対して寛容に。
・自分と違った視点に対し感謝しましょう。
・発言は短く、的確におこないましょう。
・楽しく討議しましょう。

4．ディスカッション（1日目）

講義のあと少し安心した状態でディスカッションに移りました。参加者を同じクラブのメンバーが一緒にならないようにA,B,C,Dの4組に分け、それぞれのクラブの現状やそのメンバーの考え方を交流するという配慮です。机をコの字型にして、講師を真ん中に2グループ12～16名座って討議し、後ろでその他のグループと2510地区のオブザーバーが聞いて勉強するという形をとりました。

事前に参加者に送られた質問と2～3年おきに規定審議会の内容を盛り込んで更新される参加者テキストを交互に用いて、討議を進めました。本田PDG、酒井PDGの絶妙なDLとしての技術により発言がすぐに活発になりました。参加者全員が意見を述べ、それぞれが勉強し、気付きを得ました。

5．討議内容（1日目）

1日目の討議は次のような内容でした。
・パート1の概要・解説　（30分）本田DL
・パート1セッション2
　「私のロータリー世界」（50分）酒井DL
・パート1セッション4
　「財団Ｉ私たちの財団」（30分）本田DL
・パート1セッション5
　「全員の参加を促す」（30分）酒井DL
・パート1振り返り　本田DL
・パート2の概要・解説　本田DL
・パート2のセッション1
　「ロータリーの機会」（50分）酒井DL
・パート2セッション4
　「チーム作りとクラブコミュニケーション（50分）本田DL
・パート2セッション3
　「会員を勧誘する」（30分）酒井DL
・パート2振り返り　酒井DL

6．懇親会

1日目の研修が終わり全員出席のもと懇親会が開かれました。参加者は楽しく交流し、より親しくなり、ロータリー談義に花が咲き、これからのロータリー活動に大いに活力が湧きました。
私は2510地区の懇親会でDLの方がたの仲

がいいのに感心し、それは懇親会によるロータリー談義からくるものだと思いました。我々もRLIを通じて仲の良い仲間になれることを確信しました。

7．研修2日目

朝9時からと早い時間でしたが、参加者は15分前に集まりすぐにディスカッションがはじまりました。2日目は進め方がよく理解でき、積極的に充実した発言が多くなりました。内容は以下です。

・パート3の概要・解説　本田DL
・パート3セッション2
「財団Ⅲ 国際奉仕」　(30分)本田DL
・パート3セッション5
「規定審議会・決議審議会」
(50分)本田DL
・パート3セッション6
「変化をもたらす」　(30分)
酒井DL・本田DL
・パート1からパート3の振り返り
酒井DL・本田DL
・ディスカッションリーダーの基本
本田DL

途中、セッションのなかで実際に釧路ベイの森会員に5分間のDL体験を行っていただき、立派に努めていただきました。
最後に講師から再度DLの話をお聞きし研修が終了しました。

その後、参加者全員が一人ずつ感想を述べ、DLへの意欲を感じました。

細川副ガバナーから終了証書とRLIのピンバッチの贈呈がおこなわれ、参加者全員が無事RLIの終了者になりました。最後に松田GEが講師への感謝とRLIに対しての熱い思いを述べ、閉会になりました。

8．RLI研修会を札幌で開催して

2500地区は広大な地区で公共交通機関が十分整備されていません。今日のように参加者が一同に集まり、スキルを磨くことが難しいのが現状です。旭川地区、北網地区、釧路・十勝地区の3地区に分けて研修会を開催し、全体で集まるのは、地区大会の前日などを考えなければならないと思います。

松田年度ではDLの研修を積み正式な発足は漆崎年度からできないかと考えております。今後、吉田ガバナー、松田エレクト、漆崎ノミニーと相談し、地区内にお諮りして進めていきたいと思います。

RLIの手法は地区のさまざまな研修にも、それぞれの会員の会社経営の中でも活用出来る手法です。新しいプログラムに挑戦するのは大変ですが、地区のためにも皆さんの協力とアドバイスで焦らず準備していきたいと思います。

ＲＬＩ研修会 アンケート集計 回答数26件(32件中)

①札幌での開催について

よい	17
2500地区内がよい	5
その他（希望地）	1
無回答	4

②今回の参加について

自分の意志で参加	6
ガバナー､ＰＤＧ､ガバナー補佐などからの推薦	20
クラブからの推薦	1
その他	

③過去のＲＬＩ研修会への参加経験

参加したことがある	7
参加したことがない	19

④ＲＬＩ方式での会議等への参加経験

参加したことがある	5
参加したことがない	21

⑤今回のＲＬＩ研修会について

良かった	26
あまり参考にならなかった	0
ＲＬＩはまったく意味がない	0
その他	0

⑥講習内容について

分かりやすかった	24
あまり理解できなかった	2

⑦自分にとって勉強になったか

勉強になった	26
あまりならなかった	0

⑧講師の話は理解できたか

理解できた	25
あまり理解できなかった	1

⑨DL(ディスカッションリーダー)講習への参加について

参加したい	10
勧められれば参加したい	16
参加しようとは思わない	0

⑩クラブでＲＬＩを導入することについて

積極的に導入したい	4
クラブ内の理解を得られれば導入したい	21
導入しようとは思わない	1
その他	0

感　想

・自分のクラブ、自分の会社にも導入してみたい。
アイデアをたくさん出すためには良い方法だと思う。
・参考になった。自分のクラブを改めて見直すことができ、問題点を発見したので、改良に取り組みたい。
・次回も参加したい。ＤＬを経験させていただきよい経験ができた。
・クラブ内の意見をまとめるときにこの手法が良い。
大・中・小会議に応用できる。
次回ＩＭを担当することがあれば「今必要な」議題を題材としてやってみたい
・クラブより仕事で活用できると感じた。
また自分の知識不足を感じ、勉強を行う。
・機会があればＤＬにもチャレンジしたい。
・大変勉強になった。
・月１回、３か月スパンで研修会をしてほしい。
今回だけでは時間不足。
・今回のように他クラブの方とであればうまくいくのかもしれないが、自分のクラブでやった場合ロータリー経験の違いで発言者が偏ってしまいそう。
・ＤＬの会議の進め方がとても勉強になった。
ただ議題がロータリーではなく仕事の内容だったら、と考えたらイメージが浮かばないので、まだまだＤＬを理解できていないと思う。
全体にはロータリーについてを含めて大変勉強になった。
・クラブの現状を会員と話し合うきっかけにできればと思う。
・最近のロータリークラブは親睦を中心としてクラブ運営がなされている。ロータリーとは何？
ロータリーを勉強する機会が非常に少なくなっている。
中には奉仕活動も行動もせずに１年を通すリーダーが増えている。
ロータリーとは何？をこのＲＬＩを通じてクラブ活性化に導入したいと感じた。
・分区、クラブにＲＬＩを勧めるにあたり、まずこのテキストを購入したい。さらにシナリオｏｒプログラム作成について更なるテクニックをご教授いただきたい。
是非中堅若手リーダーに伝えたい。
３.５間×５.５間(63㎡)のスペースに36人以上のスペースはいかがなものかと。
・新鮮だった。これからもあらゆる場面で利用したい。
・長い時間をかけて参加した研修会だが、終わってみるととても短く幹事、参加者との距離感が近くなったように感じた。

**地区内８分区でのIMが、新型コロナウイルスのため全て中止となりました。
そこで、準備されてこられたガバナー補佐の方々からコメントをいただきました。
今月と来月に亘り掲載いたします。**

18年振りのIMだったのに…

第１分区ガバナー補佐
山　本　義　憲
（利尻ロータリークラブ）

昨今の国内外での新型コロナウイルス感染者の拡大に鑑み、吉田潤司ガバナーをはじめ第一分区の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、IMの開催を中止することにいたしました。

利尻ロータリークラブでの開催は18年振りであり、これまで早々の実行委員会を立ち上げ、万全の体制をもって皆様をお迎えする準備を整えていましたが、想定を上回る緊急事態に苦渋の決断をせざるを得ない状況となってしまいました。

さて、幻となった2019-2020第2500地区第１分区のIMですが…もし開催していたら…皆様には朝のフェリーでご来島いただき、午前中は通常のIMプログラムに則り、地元在住のカリスマ利尻自然ガイドによる「利尻の魅力」を肌で感じることのできる講演をいただいた後、午後からは利尻の海の幸をふんだんに使った料理に舌包みを打っていただきながら、懇親を深めて日本最北の離島「利尻島」の春を満喫してもらうつもりでした。

特に、懇親会場については地域特性もあり既存の宿泊施設での開催はできないため、公共施設である集会場を使用しての「手作りのおもてなし」を考えており、当クラブ会員はもとより地域が一丸となって皆様お迎えするつもりでした。

参加を楽しみにして皆様には大変なご迷惑をお掛けいたしますこと､深くお詫び申し上げます。

現在の状況が早期に終息することを切に願っています。

「インターシティ ミーティング・イン名寄」報告書

第2分区ガバナー補佐
濱　下　伸一郎
（下川ロータリークラブ）

ＩＭを開催した仮定での疑似報告です。

2020年５月９日名寄市は、雲一つない晴天に恵まれ、150人を超える会員が参集し、第２分区IMは濱下ガバナー補佐の点鍾で開催されました。藪中重和IM運営委員長の開会の挨拶、ホストクラブ吉川博己会長の歓迎の挨拶、来賓祝辞、ガバナー、地区役員、参加クラブ紹介後、吉田潤司ガバナーから　ご挨拶を頂きました。新型コロナウイルスに負けることなく、この非常事態の中で､我々は､ロータリー精神にのっとり､正しい行動をする事が大切である。と述べられました。暫時休憩後場所を、名寄市立名寄大学のキャンパスに移動し、本日の研修である名寄市立名寄大学の歴史と、現在の様子をキャンパス内の施設を見学しながら研修いたしました。

名寄市立名寄大学は、1960年名寄女子短期大学（家政科設置）として開学し、

1981年　栄養家政専攻科設置
1984年　児童専攻科設置
1990年　市立名寄短期大学に名称変更
1994年　看護学科設置
2006年　名寄市立大学開学　４年生大学

保健福祉学部、栄養学科、看護学科、社会福祉学科、社会保育学科の４学科があり、生徒数は１学年200名で、全学では約800名。教授陣は野村陽子学長はじめ83名。ちなみに卒業生には、TVでおなじみの星澤幸子さん、元置戸学校給食センターで日本一の給食と言われた佐々木十美さんが、いらっしゃいます。附属機関の附属図書館、コミュニティ教育センターは、非常に充実した機関で、名寄市民はもちろん、近隣市町村にとっても、大変助かっております。生徒さんの出身地は全国各地から来ており、就職先も道内の有名病院、市町の幼稚園、町村職員と先輩が務めている職場等に就職しています。学生、教授、事務職員合わせて、約1000人近い人が関わっており、名寄市の大きな教育産業です。また市立なので、私立と比較すると授業料等ですごく有利です。ご家族お知り合いに受験生がいらっしゃいましたらぜひ、名寄市立名寄大学を、ご検討ください。教育環境は最高です。

大学構内を見学した後、グランドホテル藤花に会場を移動し、吉田潤司ガバナーより講評を頂き、次期ガバナー補佐名寄ロータリークラブ稲葉英紀会員の紹介があり、濱下ガバナー補佐の点鍾でIMは終了し、友愛の広場に会場を移動し、名寄特産品アスパラを始め、地元食材の美味しいお料理や、趣向を凝らしたアトラクションで、参加者一同大いに盛り上がり、楽しいひと時をすごしました。久しぶりにお会いすると、すごくエネルギーをもらった気分に成りました。

今日も都会では、新型コロナウイルスが、猛威を振るっています。皆で団結して、苦しいけど我慢して、外出を自粛し拡散を防ぎましょう。けれども姑息な手段を講じ自分に都合の良い解釈をして、感染を拡大させ、知らんぷり。東京は危ないから、他の県に。

こんな事で良いのでしょうか？もう自己防衛しか有りません。外出は控え、先ずは手洗い、うがい、３つの密を避け、栄養を取り、ウイルスに負けぬよう、努力しましょう。

家族のために、みんなのために。

親愛なる、国際ロータリー 第2500地区第３分区の皆様へ

第３分区ガバナー補佐
石　川　千賀男
（旭川モーニングロータリークラブ）

今年度、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止を余儀なくされました。都市連合ＩＭですが、10年前に知り合った環境問題に詳しい、兵庫県立大学横山教授による、一般公開講演会を考えておりました。ガバナー補佐といたしまして、大変残念ですが、今回のＩＭ実行委員会の熱き想いを述べさせていただきながら、３月にNHK（ＢＳ）で放送されました「気候クライシス」と「IPCC特別報告書」をDVDに収めましたので、是非、お時間のある時に、ご鑑賞いただきますようお願いを申し上げます。 尚、複製は可能になっております。

近頃、日本はもとより世界各地で気候変動が起きています。

昨年９月、世界気象機関（WMO）は、「世界の平均気温は、過去５年間が観測上、最も高く、二酸化炭素排出量も過去最高となった」と発表しました。

そして９月下旬、ニューヨークで開催された「国連機構行動サミット」に出席した各国の首脳を前に、スエーデンの17歳の少女グレタさんは次のように訴えました。「人々は苦しんでいます。人々は死んでいます。生態系は崩壊しつつあります。私たちは、大量絶滅の始まりにいるのです。…そして最後に若者たちはあなた方の裏切りに気づき始めています。未来の世代の目はあなた方に向けられています。」このように若者たちが立ち上がったことで、**気候危機**という認識が一気に世界に広がりました。

気候変動が進む世界各地の厳しい実態。日本では、昨年の相次ぐ自然災害によって支払われた損害保険金の総額が、過去最高の１兆6000億円、地球温暖化による大気や海水の温度上昇がもたらす台風の強大化、深刻な大雨と干ばつ、命を脅かす猛暑日、高潮や高波の脅威、更には、気候の変化で、農作物の品質や収穫高にも悪影響が及び、生活している人々の安全や暮らしをも奪ってしまう。

気候変動の問題は、すでに単なる気象問題を通り越し、解決のためには、社会の在り方、とりわけビジネスの在り方を変えていかなければならない段階に来ています。その理由は、ビジネスがすべての原因を作ったからです。ひたすら大量生産、大量消費、大量破棄にいそしんだ結果、気づいたら地球全体に深刻な影響をもたらす、様々な問題が起きていた。イギリスは「気候変動はすべての人にとって自分事である」つまり、政府から地方自治体、あらゆる企業、あらゆる市民組織など、社会を構成するすべてのステークホルダーにとって、気候変動は自分自身の問題なのです。それぞれの立場で社会的責任を果たすことが要求されているのです。それには、市民一人ひとりが気候変動について、学び、しっかりとした知識を得て、理解し、行動に移していくこと、根本的には、それが今の国際社会における**最重要課題**だと思うのであります。

IM中止に思う

第４分区ガバナー補佐
川　崎　敏　夫
（興部ロータリークラブ）

今年は、雪の量の少なさから始まりここにきて100年前のスペイン風邪を思わせる新型コロナウィルスで世界は混乱しています。ロータリー活動も例外ではなく、２月下旬、３月にかけて例会中止、各活動を中止延期し始めてきました。ＩＭについては開催するかどうかを考えた頃は、北海道の対策が功を奏し新たな感染者が下降線の時であり、その時期から２か月後という事で可能と考えていましたが、首都圏が何やら騒がしくなり、やはり日本の中心部が影響を受けているという事や他のイベントの中止が有り、心情的にも無理という事で止む無く中止に至りました。

講演は小船井パストガバナーに「規定審議会に見るロータリーの変化と我々の対応」というテーマを予定しておりました。

講演は何れの日か拝聴できる事を楽しみにしていますとともに、次年度までにウィルス拡散が終息していますように。

テーマ「Exciting Rotary」

第５分区ガバナー補佐
木　谷　　実
（留辺蘂ロータリークラブ）

安倍首相により緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルスへの対応は、一段レベルアップしました。ＩＭを延期ではなく中止と決定してから早くも２ヵ月近くになりました。判断するにあたっては、分区内９クラブの会長さんの意見をすべて伺い、各分区の補佐の方とも意見交換し、分区出身のパストガバナーに感想を求め、決断いたしました。やはり大きかったのは分区内において、コロナ感染のクラスターが発生したことがあると思います。ことここに至っては、決めたことに後悔することなく前向きに気持ちを切り替えていこうと思っております。

そこに非常に酷な話しではありますが、「もしＩＭが行われていたら」ということで「たら・れば」になってしまいますが想定してみます。ＩＭ開催に向けて昨年８月より実行委員会を立ち上げ内容の検討に入りました。

テーマを「Exciting Rotary（エキサイティング　ロータリー）」としました。

ロータリーに気持ちを奮い立たせる情熱という意味を込めています。講演を２本立てで企画しました。特別講演に北見工業大学の学長　鈴木総一郎氏より「冬季スポーツを科学する」と題してお話しをいただき、基調講演としてRI第2800地区パストガバナー藤川亨胤氏に「過去のロータリーと現在」という内容のお話しをいただくことになっておりました。お二人の特色ある講演は我々にいろいろな示唆を与えてくれるものと期待していました。懇親会にはアトラクションとして地元中学校のブラスバンド演奏と和太鼓、お楽しみ企画と、精一杯のおもてなしをと準備しておりました。各クラブへＰＲに伺う連絡調整をしている最中の中止決定となりました。いい内容であったと自負しているだけに、コロナに恨み節が出てしまいます。分区内のメンバーが集まり、研鑽と親睦の場としてのＩＭが、来年度は無事に開催されることを願っているところであります。

次年度地区チーム研修セミナー・PETS

2020−2021年度
国際ロータリー第2500地区
地区幹事 **軽 米 達 也**
（富良野ロータリークラブ）

2020－2021年度　国際ロータリー第2500地区の地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー（PETS）は３月７日、８日と開催されました。当初の予定においては、富良野の地で地区役員、各クラブの次年度会長・幹事予定者をお招きし、総勢180名ほどの会議や懇親会を予定しておりましたが、新型コロナウィルスの拡大防止の観点からZoomを利用したオンライン会議に変更させて頂きました。

松田英郎ガバナーエレクトより、RI会長テーマならびに国際協議会報告、地区テーマである「ランクアップしましょう」をもとに次年度地区目標及び地区活動基本方針の発表を行いました。当初の準備における「完全な形」での開催は叶いませんでしたけれど、皆さんのご協力・ご理解を賜り何とか初期の目的は達成することが出来たかと思います。皆さんと一緒に一日も早い終息を願い、このピンチを一つの機会と捉え、共にランクアップしましょう！

次年度地区チーム研修セミナー
（Zoom会議）
2020年3月7日（土曜日） 15：00～16：00

	司会進行	ホストクラブ　荒木　徹 君
15：00	点鐘	ガバナーエレクト　松田　英郎 君
	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト　松田　英郎 君
15：03	ガバナー挨拶	地区研修委員　ガバナー　吉田　潤司 君
15：06	地区チーム研修セミナー開催趣旨について	次年度地区研修委員会委員長・PDG　小船井修一 君
15：11	RI国際協議会報告ならびにRI会長テーマの説明 次年度地区目標及び地区活動基本方針の発表	ガバナーエレクト　松田　英郎 君
15：40	次年度地区組織図（案）ならびに年間スケジュールについて	次年度地区幹事　軽米　達也 君
15：45	次年度地区予算について	次年度地区財務委員長　藤岡　末生 君
15：50	次年度地区大会について	地区大会実行委員会　委員長　日里　雅至 君
15：55	地区研修・協議会のプログラムについて 地区研修・協議会議事内容　進行方法の説明	地区研修・協議会実行委員会　委員長　荒木　毅 君
16：00	閉会・点鐘	ガバナーエレクト　松田　英郎 君

※当日の進行によっては時間の変更があります

次年度会長エレクト研修セミナー（PETS）

（Zoom会議）

2020年3月8日（日曜日）9：00～12：15

	司会進行	ホストクラブ	荒木　徹 君
9：00	開会の言葉	PETS地区研修・協議会実行委員長	荒木　毅 君
9：03	開会・点鐘	ガバナーエレクト	松田　英郎 君
	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	松田　英郎 君
9：05	ガバナー挨拶	地区研修委員　ガバナー	吉田　潤司 君
9：08	RI会長テーマならびに国際協議会報告、地区テーマ 次年度地区目標及び地区活動基本方針の発表	ガバナーエレクト	松田　英郎 君
9：30	次年度地区予算案の審議上程ならびに採択	次年度地区財務委員長	藤岡　末生 君
9：35	次年度地区活動予定表について	次年度地区幹事	軽米　達也 君
9：40	研修講話「次年度クラブ会長としての心構え」	地区研修委員　ガバナー	吉田　潤司 君
9：50	2019年規定審議会報告	地区研修委員　PDG	東堂　明 君
10：00	次年度地区委員会組織変更について	次年度地区幹事	軽米　達也 君
10：05	柔軟性ショックについての提言	地区研修委員長PDG	小船井修一 君
10：35	国際奉仕のプログラムとリソースとサポートについて	地区研修委員　PDG	足立　功一 君
11：00	RLI模擬セッション（青少年奉仕について）	地区研修委員	葭本　正美 君
11：15	財団、米山への取り組み	地区研修委員　ARRFC　PDG	細川　吉博 君
11：25	財団委員長としての方針	地区研修委員　財団委員長	成瀬　則之 君
11：35	会員増強、拡大セミナー「誰のための会員増強か」		渡辺喜代美 君
12：05	閉会の言葉	PETS 地区研修・協議会実行副委員長	日里　雅至 君

Rotary
Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く
ROTARY INTERNA
DISTRICT
JAPA
点鐘・ガバナーエレクト挨拶
ガバナーエレクト　松田 英郎 君

財団委員長としての方針
地区研修委員　財団委員長　PDG　成瀬 則之 君

国際奉仕のプログラムとリソースとサポートについて
地区研修委員　PDG　足立 功一 君

会員増強、拡大セミナー『誰のための会員増強か』
会員増強委員長　渡辺 喜代美 君

2019年規定審議会報告
地区研修委員　PDG　東堂 明 君

2020-21年度 国際ロータリーのテーマ
次年度地区予算案の審議上程ならびに採択
次年度地区財務委員長　藤岡 末生 君

RLIについて
地区研修委員　PDG　廣本 正美 君

Rotary
Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く
ROTARY
DIST
閉会の言葉
PETS 地区研修・協議会実行副委員長　日里 雅至 君

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol.241
2020年4月14日
発行

1. 新型コロナ感染拡大の中で迎える新学年度

4月から新学年度が始まりました。

4月7日、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、7都府県に緊急事態宣言が発令されたことから、当会では翌8日付で、2020学年度の新規奨学生および継続奨学生に対し、「挨拶ならびに大切なお知らせ」として、現在の状況説明、今後守るべき諸注意事項などをホームページに掲載すると共に、各人にメールで送信しました。

第2770地区では窓を開放し4回に分けて開催

例年、4月に各地区で開催される米山奨学生のオリエンテーションについては、4月13日現在、中止が16地区、延期が11地区となっており、開催する場合も分散して小規模にと、“3密”を避けての実施が徹底されています。

オリエンテーションは、新しくロータリーファミリーの一員となった米山奨学生を歓迎すると同時に、米山奨学生としての責務を確認してもらう重要な機会ですが、感染拡大防止を第一にさまざまな形を工夫し、各地区、世話クラブで奨学生へのケアにご尽力ただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。平時とは異なるスタートですが、新学年度の米山奨学生をどうぞよろしくお願いいたします。

2. 自宅でできる奉仕活動を ― タイ米山学友会 ―

タイ国内において新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、タイ米山学友会では3月27日に募金活動を開始。会員からの寄付金と学友会からの資金を合わせた50,000バーツ（約16万6千円相当）をタマサート大学病院へ送り、医療機器購入費に充ててもらうこととしました。

首都バンコクでは、3月22日から食品や生活必需品の販売以外のすべての店舗を休業させるなど、厳しい措置を導入して警戒を強めています。こうした状況下、同学友会では「外出しなくても出来るプロジェクト」を模索していたと言います。ワシン・テイシャシャイニラン会長（2011-12／東京清瀬ＲＣ）は、「学友会としてできることを、これからも絶対にやり遂げていきます。皆で力を合わせて、この困難を乗り越えましょう」と、力強く述べました。

3. 寄付金速報 ― 新型コロナの影響続く ―

3月までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金：2.3%減、特別寄付金：4.5%減）、約4,500万円の減少となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、先月よりも更に減少幅が広がる結果となりました。収束の見通しが立たない中、少なくともゴールデンウィーク明けまでは引き続き厳しい状態が続くと思われます。

ロータリアンの皆さまも、事業や暮らしのうえでさまざまな不便を強いられている日々と存じます。皆さまのご健康と、一日も早い事態の収束をお祈り申し上げます。

4. Web 感謝祭に反響多数！― 関西米山学友会 ―

第 2660 地区（大阪府）の関西米山学友会では、毎年 3 月に「米山感謝祭」を開催し、現役米山奨学生がお世話になったロータリアンへ感謝の気持ちを届ける場としています。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染が広がり、地区の行事が相次いで中止となる事態に。そこで同学友会は知恵を出し合い、インターネット上で感謝祭を開催することを決定しました。

ロータリアンに向けた奨学生のリレーメッセージ、ガバナーや地区米山奨学委員長からの祝辞など、急ピッチで動画を作り上げ、本来集まるはずだった 3 月 8 日 18 時に配信を開始。参加予定だったロータリアンや奨学生・学友たちは、この動画を見ながら 1 年間を振り返りました。同学友会のアリフ・ザイニ会長（2013-15／大阪城東ＲＣ）は、「配信後、たくさんの人

から感動の声をいただいて、本当にやってよかったと思いました。今後も、私たち米山学友会は何があろうとも、動じずに、前向きに進みたいと思います」と、語ってくださいました。

▼米山 Web 感謝祭（短縮版、約 10 分）
https://youtu.be/WfKPwHDQ3oQ

5. ミャンマー米山学友会が総会を開催

ミャンマー米山学友会の総会が 3 月 21 日、ヤンゴン市で開催され、同市在住の学友 8 人のほか、マンダレーや日本からも学友が駆けつけ、計 13 人の学友と家族 2 人が参加しました。開催にあたって当初、『ロータリーの友』1 月号で告知をするなど、日本から多くのロータリアンに来ていただきたいと考えていましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、今回は学友のみでの開催となりました。

理事会ミーティングのあと、事前に実施されたアンケート結果に基づき、学友会規則の改編、田中作次奨学基金の管理方法やミャンマー政府への学友会登録について話し合われました。また、今後の新たな活動として、被災地支援事業、日本のロータリアンが実施するミャンマーの子どもたちの健康診断への協力、衛星クラブの設立※1を予定しており、それらの準備会を立ち上げ、総会を終えました。

※1 *4 月 2 日付で「Rotary Satellite Club of Central Yangon, Endeavour Myanmar」の設立が承認されました。創立会員は 9 人、うち 8 人が米山学友です。*

在宅勤務のお知らせ

当会事務局では、新型コロナウイルス感染拡大リスクの最小化を目的に、原則として在宅勤務（テレワーク）を実施しています。関係各位には大変ご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
【実施期間】4 月 3 日(金)～4 月 17 日(金)予定　※状況により期間延長の検討をいたします。
【期間中の問い合わせ対応】原則として、メールにて対応をさせていただきます。詳細は当会HPまで。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2020年5月号
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

「緊急事態宣言」のもとで

COVID-19感染者の急激な増加により、4月7日に7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。 この緊急事態宣言の発動が少し遅いかも知れませんが、国民一丸となって取り組まないと終息が見えてきません。

中国から始まりヨーロッパに続いてアメリカ更には南米やアフリカと地球全域へと感染拡大です。このような状況下で、日本各地のロータリークラブ・ロータリアンは2月ないし3月から活動を自粛しており、3月・4月の例会や地区の行事も延期・中止が続いております。恐らく5月も活動再開が難しく、ハワイでの国際大会が行われなくなった事からも6月の活動も厳しい状況です。

国民の生活が一変した未曽有のパンデミック真只中で、各自の生活を守るための行動が最も大切であり、夫々の事業や家族を守る事に全力投球が続く状況下において、例会に参加してロータリー生活を楽しんでいた生活習慣がこの2月～3月から活動自粛により崩れ、ロータリーから心が離れ退会に向かう会員が出てくる可能性が多いに有ります。

各クラブの会員同士が連絡を取り合ってつながりを保ちましょう、そして地域社会への奉仕する方法を探しましょう。

更にはスカイプ、Zoom、GoToMeetingなどのオンラインツールを活用して例会を開くことも可能です。各クラブでオンライン例会にもチャレンジしてつながりを保ち続けましょう。その際にはロータリーのウェブサイトで、オンライン例会を開催するためのヒントやガイダンスをご覧になって下さい。

日常の生活に追われ頭の中からロータリーが消えかかっている会員の為にも、日本中のクラブ会長さんを筆頭に多くのロータリアンが「ロータリー情報・・・心に留まる情報」を各会員に発信し続け、各会員に「自クラブとロータリー」を頭の中に留めさせて下さい。必ずこのCOVID-19によるパンデミックは終息し、楽しいロータリー活動が戻ってきます。

各自のロータリー活動を見直し近い将来の活動を思い描きながら、ロータリー情報を発信しつながりを保ち続けましょう！

第2地域ロータリーコーディネーター補佐　松坂　順一（東京葛飾東RC）

新入会員の紹介

●第５分区
〔美幌ロータリークラブ〕
藪下理香（やぶした りか）
●美容業
●1966年6月25日生
●2020年3月5日入会

●第７分区
〔釧路ロータリークラブ〕
米倉幸泰（よねくら ゆきやす）
●電力供給
●1965年3月2日生
●2020年3月19日入会

●第７分区
〔釧路東ロータリークラブ〕
宇佐典浩（うさ のりひろ）
●保険業
●1970年8月13日生
●2020年4月1日入会

●第７分区
〔釧路ロータリークラブ〕
柴崎主税（しばざき ちから）
●社会保険労務士
●1961年6月30日生
●2020年4月9日入会

ロータリー財団寄付者

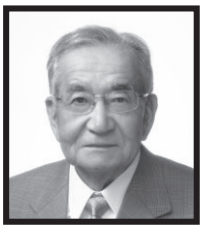
組	寄付の種類	氏　名	クラブ名	寄付月日
3	MPHF+5	井内治弥（いうち はるや）	旭川北	2月25日
3	MPHF+1	久木佐知子（ひさき さちこ）	旭川西	3月18日
7	MPHF+1	平澤利秀（ひらさわ としひで）	釧路北	4月2日

米山功労者寄付者

分区	氏　名	クラブ名	寄付月日	回数
3	久木佐知子（ひさき さちこ）	旭川西	3月18日	1
3	前田康仁（まえだ やすひと）	旭川西	3月18日	1

物　故　会　員

■第５分区　美幌ロータリークラブ



1985年　11月入会
1992年　第31代クラブ幹事
1995年　PHF
1995年　第31代クラブ会長

金兵冽（かなひょう きよし）
食品加工
2020年3月17日逝去
（84歳）

■第６分区　足寄ロータリークラブ

2010年　6月入会
2011年　親睦委員会委員
2012年　会員増強委員会委員
2013年　職業分類委員会委員
2014年　国際奉仕委員会委員
2015年　ロータリー財団　米山委員会委員
2016年　親睦委員会委員
2017年　会員選考委員会委員
2018年　ロータリー財団　米山委員会委員
2019年　社会・青少年委員会委員

原安正（はら やすまさ）
建築業
2020年3月18日逝去
（62歳）

RI2500地区

例会出席率及び会員数推移

2020年３月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率（%）	会員数 2019年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼文	2	70.0	14	15	1	0
	利尻	2	72.0	18	18	0	0
	利尻島	2	76.2	12	12	0	1
	天塩	1	54.5	8	11	3	2
	豊富	1	100.0	20	21	1	1
	稚内	1	41.0	46	46	0	2
	稚内南	0	0.0	36	36	0	2
	計		59.1	154	159	5	8
2	美深	0	0.0	25	26	1	0
	枝幸	1	53.8	23	26	3	0
	名寄	0	0.0	59	62	3	2
	中頓別	3	81.3	16	16	0	0
	士別	2	84.4	48	48	0	1
	下川	4	75.0	4	5	1	0
	計		49.1	175	183	8	3
3	旭川	0	0.0	69	73	4	0
	旭川東	0	※	34	33	－1	0
	旭川北	0	0.0	41	44	3	1
	旭川南	1	76.5	33	32	－1	0
	旭川西	1	78.4	45	50	5	5
	旭川東北	0	※	15	15	0	2
	旭川モーニング	0	※	25	23	－2	4
	旭川空港	5	100.0	12	13	1	3
	美瑛	0	※	25	28	3	0
	富良野	0	※	46	46	0	3
	上川	3	63.3	10	10	0	0
	2500REクラブ	4	90.3	22	20	－2	1
	計		58.4	377	387	10	19
4	遠軽	0	0.0	42	41	－1	3
	紋別	0	0.0	31	31	0	0
	紋別港	0	0.0	33	32	－1	0
	中湧別	0	0.0	10	11	1	0
	興部	0	0.0	16	15	－1	0
	雄武	4	65.0	11	13	2	0
	滝上	3	62.7	17	17	0	2
	計		18.2	160	160	0	5
5	網走	0	0.0	51	52	1	9
	網走西	0	0.0	50	52	2	0
	美幌	1	75.9	58	56	－2	5
	北見	0	0.0	57	55	－2	4
	北見東	0	0.0	56	54	－2	2
	北見西	0	0.0	65	63	－2	0
	清里	0	0.0	29	30	1	0
	留辺藥	0	0.0	24	23	－1	0
	斜里	0	0.0	37	36	－1	4
	計		8.4	427	421	－6	24
6	足寄	0	0.0	30	31	1	1
	広尾	0	0.0	22	22	0	0
	上士幌	0	0.0	15	15	0	0
	芽室	0	0.0	22	28	6	1
	帯広	0	0.0	89	88	－1	6
	帯広北	0	0.0	63	59	－4	2
	帯広西	1	100.0	74	75	1	3
	帯広東	0	0.0	38	39	1	2
	帯広南	0	0.0	72	72	0	8
	音更	1	71.4	38	35	－3	3
	清水	0	0.0	18	18	0	2
	計		15.6	481	482	1	28
7	釧路	2	80.0	95	99	4	1
	釧路東	0	0.0	33	33	0	0
	釧路北	2	49.0	77	78	1	3
	釧路南	0	0.0	29	30	1	5
	釧路西	1	50.0	28	27	－1	1
	釧路ベイ	0	0.0	20	20	0	1
	音別	1	63.0	16	16	0	0
	白糠	1	54.5	10	11	1	0
	計		37.1	308	314	6	11
8	厚岸	4	70.6	16	17	1	0
	別海	0	0.0	17	17	0	0
	浜中	1	83.3	12	12	0	0
	中標津	1	68.4	21	21	0	1
	根室	0	0.0	38	37	－1	0
	根室西	0	0.0	50	53	3	0
	弟子屈	0	0.0	18	18	0	1
	計		31.8	172	175	3	2
総計			34.7	2,254	2,281	27	100

※印　メーキャップの規約改定により提出のないクラブです

第2500地区	19年7/1会員数	当月末会員数	増減	平均出席率
全67クラブ	2,254人	2,281人	27人	34.7%
女性会員数	100人	100人	0人	

★コロナウイルスの影響により、休会あり
★旭川空港ＲＣはコロナウイルスの影響により、ＦＡＸ例会となりました。

Rotary

http://rid2500.jp

■ガバナー事務所

〒085-0016　北海道釧路市錦町５丁目３
三ツ輪ビル２Ｆ
TEL 0154-61-0018　FAX 0154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

■GOVERNOR OFFICE

MITSUWA BLDG.2F　5-3,Nishiki-cho,Kushiro-shi,
Hokkaido,085-0016, Japan
TEL +81-154-61-0018　FAX +81-154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

湿原に咲く水芭蕉

国際ロータリー第 2500 地区
２０１９▶２０２０　ガバナー

吉田　潤司